

2024 年度

ニチキッズあみ保育室 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月6日（月）～1月31日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年1月31日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	子どもも保育者も“おもいっきり”楽しむということを実現するために、保育者だけでなく、給食職員とも話し合いをしながら、行事や食育活動を計画した。ボディペインティングやクッキーづくり・もちつきごっこなど、子どもたちがわくわくするようなイベントを季節ごとに実施できた。
子どもの発達援助	異年齢保育を通して、自然と自分より小さい子どものお世話をする姿があり、思いやる気持ちを育むことができた。日々のふれあいを通して、互いの存在を認め合い、それぞれの成長に繋がるような育ちを大切にしてい
保護者に対する支援	今年度も保護者参加型の行事を保育参観と保育参加を実施した。今後は、懇談会やアンケートを通して、保護者からの意見やアイデアを募るようにし、保護者と連携して、一緒に子どもを育む環境を作っていく。
保育を支える組織的基盤	定期的な職員面談・職員会議を実施し、都度保育運営における課題について共通理解を図り、解決策を検討してきた。 保育士キャリアアップ研修だけでなく、外部研修に積極的に参加し、保育者それぞれのスキルアップ・保育の質の向上を目指していく。

総評
引き続き、季節ごとのイベントや食育活動・保護者参加型の行事は、子どもたちの成長や実態に合わせて計画していく。今までは、子どもと保育者中心となっていたが、子ども・保護者・保育者の園全体での“おもいっきり保育”の実現を目指していく。保護者からの意見やアイデア募り、それを活かして保育に取り入れていき、さまざまな視点から、子どもの成長を促していきたい。 また、異年齢の関わりでは、年下の子どもから年上の子どもへ、アクションできる内容を検討していく。